

第5回 ^{しよく}続「京都 日本画新展」実施概要

1. 運営体制

- ・ 推薦委員（50音順）
 - 大野俊明氏（京都市立芸術大学特任教授）
 - 竹内浩一氏（日本画家）
 - 林 潤一氏（京都嵯峨芸術大学名誉教授）
 - 村田茂樹氏（日本画家）
- ・ 審査委員（50音順）
 - 尾崎正明氏（茨城県近代美術館長）
 - 菊屋吉生氏（山口大学教授）
 - 島田康寛氏（美術評論家）
 - 野地耕一郎氏（泉屋博古館分館長）
 - 吉中充代氏（京都市美術館学芸課課長補佐）
- ・ ^{しよく}続「京都 日本画新展」の運営は、推薦委員と主催者からなる運営委員会が行います。

2. 実施フロー

- ・ 原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね25歳から45歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品していただきます。
 - 「京都 日本画新展」出品作品数
 - …第1回 37名、第2回 38名、第3回 37名、第4回 37名、第5回 38名
 - 続「京都 日本画新展」出品作品数
 - …第1回 39名、第2回 38名、第3回 38名、第4回 38名
- ・ 出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に広げていきます。
- ・ 出品作品の中から大賞1点（表彰楯と賞金）、優秀賞1～2点程度（表彰楯と賞金）を審査委員が選出します。
- ・ 作品は美術館「えき」KYOTOでの作品展、ホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等での展示のほか、JR西日本の媒体、京都新聞紙上等で紹介します。

3. 作品の条件

テーマは自由。各1人1点のみとし、未発表作品に限ります。

1点の大きさ 80号M（1455mm×894mm）以上から

100号S（1620mm×1620mm）程度まで ※額縁は70mm以内とする

4. 作品の発表

作品の発表機会の提供を本賞の特徴とします。

【第5回 続「京都 日本画新展」の概要】

(1) 美術館「えき」KYOTOでの作品展

J R京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTOで作品展を開催します。

会期：平成30年1月26日（金）～2月5日（月）

午前10時～午後8時（最終日は午後5時閉館）

（作品展には推薦委員にもご出品いただきます）

(2) ホテルグランヴィア京都での作品展

J R京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等で作品を展示します。

会期：平成30年2月初旬～4月中旬頃（予定）

- ・ 一定期間での展示替えを行います
- ・ 推薦委員の作品は除きます

(3) J R西日本発行物での作品紹介

作品をJ R西日本発行のパンフレットなどで紹介します。

(4) 京都新聞紙上での作品紹介

京都新聞の特集紙面で紹介します。